

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 22

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	02	01
細事業名	網野給食センター管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児児童生徒の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 給食センターを管理運営し、網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に、1日約1,600食の給食を調理・配送した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	10	国庫支出金		
	11	12,830	府支出金		
	12	1,521	起債		
	13	19,116	分担金・負担金		
	14	67	その他		
	18	1,087			
	27	110			
事業費合計		34,741	一般財源		34,741
			合計		34,741

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
事業費合計			一般財源		
			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 23

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	04	01
細事業名	小学校給食管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、児童の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内小学校25校の児童に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	1,846	国庫支出金		
	7	13,222	府支出金		
	11	18,341	起債		
	12	31	分担金・負担金		
	13	61,217	その他		
	14	53			
	18	804			
	19	49	一般財源		95,563
事業費合計		95,563	合計		95,563

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 24

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	05	01
細事業名	中学校給食管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、生徒の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内中学校7校の生徒に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	247	国庫支出金		
	7	1,872	府支出金		
	11	8,032	起債		
	12	14	分担金・負担金		
	13	32,279	その他		
	14	17			
	18	1,506			
	19	38	一般財源		44,005
事業費合計		44,005	合計		44,005

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 25

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	06	01
細事業名	幼稚園給食管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山幼稚園児に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	249	国庫支出金		
	7	1,952	府支出金		
	11	430	起債		
	12	1	分担金・負担金		
	13	1,033	その他		
	14				
	18				
	19		一般財源		3,665
事業費合計		3,665	合計		3,665

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 アウトソーシングによるコスト削減の観点から、給食の業務委託を進める必要がある。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 26

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	07	01
細事業名	地元農産物給食利用促進支援事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地元農産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。 学校給食における地元産米の使用に対して補助を行った。(ブレンド米と丹後産コシヒカリの単価差の一部補助) 網野給食センター及び自校給食を実施している全校に補助を行った。 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい丹後産コシヒカ리를給食に提供できた。農家所得の向上は、本事業の目的になじまない。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	950	国庫支出金		
			府支出金	農山漁村活性化総合推進事業補助金	950
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		950	合計		950

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	理由 ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) ○ × 遅れている(できていない)
理由	日本型食生活の形成と定着、また、地元産米の利用促進への理解が得られつつある。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
理由	○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった ○ × 削減の余地があった
	京都府の100%補助事業である。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了
理由	京都府の100%補助事業である。
	事業規模の方向性
理由	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小
	京都府の100%補助事業である。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号
学教 27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	08	01
細事業名	学校給食地場農畜産物利用拡大事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

■ 事務事業評価

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地場農畜産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。(事業実施期間H21～22) 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) H22で事業終了

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野給食センターにおいて、地場農畜産物の利用拡大献立の導入・実証を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい地元産の農畜産物を給食に提供できた。 農家所得の向上は、本事業の目的になじまない。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	820	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	学校給食地場農畜産物利用拡大事業助成金	820
			一般財源		0
事業費合計		820	合計		820

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 2ヶ年の事業計画のとおり進捗している。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 (財)京都市府学校給食会の定額補助事業である。 ○ × 削減の余地があった

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION	
改善	事業内容の方向性 C A 現状維持 B 内容の見直し 理由 2ヶ年事業につきH22で終了 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 C A 事業拡大 B 現状維持 理由 2ヶ年事業につきH22で終了 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	01
細事業名	小学校スクールバス運行管理事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置により増加が見込まれるバス通学児童数 学校再配置により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 網野北・橋小学校 2校 バス通学児童数 99人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,304	国庫支出金		
	12	400	府支出金		
	13	15,471	起債		
	14	8	分担金・負担金		
	27	145	その他	久美浜路線市営バス運	40
				久美浜バス回数券販	10
				久美浜バス沿線地域	5
			一般財源		17,273
事業費合計		17,328	合計		17,328

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	遠距離及び特に必要と認めた児童のスクールバスの運行は必要不可欠であり、児童の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考え
	○ 削減の余地がなかった		
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	児童の安全、安心を守るため、網野北、橋小学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。	
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	02
細事業名	小学校スクールバス購入事業(平成21年度については土木費にて購入)					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目途に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新台数 1台 新規購入車両台数 11台

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新規車両購入 間人小学校 2台

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	150	国庫支出金		
	18	10,045	府支出金		
	27	76	起債	スクールバス整備事業際	3,700
			分担金・負担金		
			その他	地域活力基盤創造交	5,524
			一般財源		1,047
事業費合計		10,271	合計		10,271

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校再配置に伴い竹野小学校区から、間人小学校への新規車両購入を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の児童の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由 学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車新規車両購入が必要となる。	
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	01
細事業名	中学校スクールバス運行管理事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置の進行状況により増加が見込まれるバス通学生徒数 学校再配置の進行状況により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 峰山・弥栄中学校 2校 バス通学生徒数 137人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	6,271	国庫支出金		
	12	682	府支出金		
	13	23,406	起債		
	27	240	分担金・負担金		
			その他	久美浜路線市営バス運	1,427
				久美浜バス回数券販	410
				久美浜バス沿線地域	233
			一般財源		28,529
事業費合計		30,599	合計		30,599

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	遠距離及び特に必要と認められた生徒のスクールバスの運行は必要不可欠であり、生徒の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考え
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	生徒の安全、安心を守るため、峰山・弥栄中学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	02
細事業名	中学校スクールバス購入事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目的に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新 峰山中学校 1台

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	75	国庫支出金		
	18	12,953	府支出金		
	27	69	起債	スクールバス整備事業際	9,400
			分担金・負担金		
			その他	へき地生徒援助費等	2,500
			一般財源		1,197
事業費合計		13,097	合計		13,097

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">峰山中学校スクールバスの車両更新を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	峰山中学校スクールバスの車両更新を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	峰山中学校スクールバスの車両更新を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の生徒の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の生徒の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の生徒の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の生徒の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の生徒の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の生徒の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車両新規購入が必要となる。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車両新規購入が必要となる。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車両新規購入が必要となる。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	07	01
細事業名	学校安全対策事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 5 学校、地域の安全確保
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 登下校時の児童生徒を犯罪や事故から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保と被害防止を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子ども安全パトロール車「にこにこカー」21台を小中学校等に配置し、登下校時のPTA等による見守り活動を支援した。「にこにこカー」は2~3校に1台ローテーションで配置されており、登下校時には毎日運行されている。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、パトロール車として運行していることで、児童・生徒保護者、教職員に安心感を持たせることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,853	国庫支出金		
	12	562	府支出金		
	27	52	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,467
事業費合計		2,467	合計		2,467

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 子ども安全パトロール車「にこにこカー」は、児童生徒の登下校時のパトロールに有効利用されている。また、各学校においても、PTAや地域ボランティア等による見守り活動が活発に展開されている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 「にこにこカー」の運行に必要な燃料費、車検費用、損害保険料など必要最小限の維持管理経費であり、削減の余地は無い。
	▲ 少し削減の余地があった	
	× 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 引き続き「にこにこカー」の運行を継続し、PTAや地域ボランティア等による見守り活動の支援、助長が必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由 平成21年度まで京都府が実施していた、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を引き継ぎ、スクールガードリーダーを配置して、現状の見守り活動の強化と促進を図ることとする。
	B 現状維持	
	C 事業縮小	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	18	01
細事業名	学校支援地域本部事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 6 地域に開かれた学校づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域全体で学校教育を支援する連携体制を構築する。また、地域住民の経験や特技を活かす場として地域と学校を結びつけることにより、地域の教育力の活性化と住民の意欲・能力活用し、地域の活性化と学校を核とした地域づくりを推進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に参加 ボランティア登録者数 300名

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校支援ボランティアが学校の求めに応じて子どもたちの安全確保や学習支援活動、部活動支援、学校の環境整備などさまざまな学校支援活動を峰山中学校区、大宮中学校区、網野中学校区で実施した。 ○ボランティア登録者数 170名 ○ボランティア活動 1,315件; 延べ12,923名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校の学習環境の充実 地域人材の活用及び生きがいがづくり

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	3,011	国庫支出金		
	9	44	府支出金	地域で支える学校教育推進事業	3,702
	11	771	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		124
事業費合計		3,826	合計		3,826

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	平成20年度より段階的に事業エリアを拡充し、平成22年度から全市域で事業を実施する。ボランティア登録者も随時、増えており学校での活動内容も多様化している。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)		
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	国の定める委託期間(4月1日～3月15日)で事業を実施すれば単費の持ち出しは不要となる。
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針						
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
歳出						
予算科目	節	金額(千円)	財源内訳	項目	名称	金額(千円)
				国庫支出金		
			府支出金			
			起債			
			分担金・負担金			
			その他			
			一般財源			
事業費合計			合計			

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	学校、ボランティア双方ともに事業の成果が現れている。地域と学校とを結ぶコーディネーターが重要な役割を担っている。今後もボランティア人材の確保と学校支援活動の拡充を図る。
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了		
改善	事業規模の方向性	理由	国の委託制度が平成22年度で終了する。国の動向に注視しつつ、今後の事業の方向性を検討する必要がある。
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 <input type="radio"/> C 事業縮小		